

京都大学 全学共通科目 前期開講 「グラフィックデザイン」における「デンマークへ、未来へ、届けよう！私たちの想い～エコ標語」シンボルマークデザインの提案

京都大学 工学部 1回生 天川 賢治郎 京都大学 文学部 1回生 近藤 悠平 京都大学 文学部 1回生 桑田 友香里
京都大学 総合人間学部 1回生 関谷 流 京都大学 法学部 1回生 福岡 成美 京都大学 文学部 1回生 山田 果林
監修：京都大学 学術情報メディアセンター 奥村 昭夫、元木 環、上田 寛人

経緯

京都大学学術情報メディアセンターでは、全学部学生が履修可能な教養科目として「グラフィックデザイン」を開講しております。授業では、デザインとは、どういったことに留意しながらつくられるのかというデザインプロセスの把握・習得と、コンセプトとデザインをつなげてアイデアを持つという視点の獲得を重視し、授業内の演習として、授業の前半では個人でのグラフィックデザイン、後半では、無作為につくられたグループでデザインを行います。グループワークには、優秀な提案であれば、実際に大学内や社会で利用されるような現実的なテーマが設定され、各グループに分かれた学生は、デザインに取り組んだ結果として、課題の提供者など担当教員以外へそれぞれプレゼンテーションまでを実践し、評価を受けます。

今年度は、京都大学環境保全センター浅利先生をはじめ、びっくり!エコ実行委員会のみなさまに、「エコ標語 100 選」に選ばれた標語全体をアピールするためのシンボルマーク」という身近で困難な良きテーマと社会への実践の機会を与えていただきました。5グループが2ヶ月弱、この課題に取り組み、最終授業で、「びっくり!エコ実行委員会」関係者にご来学頂き、それぞれ最終プレゼンテーションを行いました。本シンボルマークは其中で選んでいただいた1グループのアイデアから作成されたシンボルマークです。

このシンボルマークに込められた学生達のアイデアが、一人でも多くの「あなた」へつながることを願っています。

制作の流れ

1. オリエンテーションを聞いて

京都大学環境保全センター浅利先生に「びっくり!エコ100選」についてのオリエンテーションをしていただきました。そして、「びっくり!エコ実行委員会」や「びっくり!エコ 100 選」の活動の内容から「エコ」とはいったい何なのか？「エコ」を実現するうえで何が大切なのか？という疑問をもちました。この疑問を、シンボルマークを考える上での最初のステップとしました。

2. キーワード集め

メンバーそれぞれが「びっくり!エコ 100 選」と「エコ」にまつわる言葉を出し合いました。

- ・協力
- ・一人ひとりの参加
- ・多くの人の参加
- ・地道な作業
- ・100(たくさん)
- ・循環、つながり
- ・手渡すこと(ハトン)

ここで出されたキーワードには、エコを実践するには国や企業の努力だけではなく、私たち一人ひとりが行動を起こすことが必要であり、小さな努力を少しずつかさねていくことが重要だと感じたメンバーの思いが反映されています。

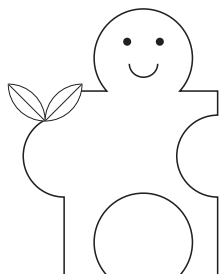
3. コンセプト決定

キーワードからひとつの言葉に集約し、コンセプトを「共同作業」としました。さらにこの「共同作業」という言葉はどういうものなのかを再分析し、シンボルマークの設計につなげるためのアイデアを出しました。そこで出てきたのが以下のような言葉です。

- ・個人個人の参加が必要
- ・協力し合う
- ・足りない部分を補い合う

4. デザインの原形の決定

上で出たいくつかのアイデアを盛り込めるということで、モチーフをパズルに決定しました。一人ひとりが大きなパズル（エコに関する活動）の1ピースであるという意味、そして、小さな1ピースをつなげていくことでひとつの大きなことを成し遂げられるという意味が込められています。さらに具体化していき、人の形にも見えるパズルピースをつくる案に決定しました。



5. デザインのブラッシュアップ

- ・顔

最初は「人の形」と「パズル」をかけているということで顔があるパズルピースが原案として出されましたが、よりコンセプトを的確に表現できるよう、最終的に人の顔を描かないデザインとしました。

- ・葉

パズルピースにエコとしてのメッセージを組み合わせ、一人一人が「エコ」に関する意欲感心を持つという意味と、まわりのひとに自分のエコをつなげていこうという二つの意味を持たせました。また、双葉にすることでこのエコに関する活動がこれからどんどん大きく成長していくことを示しています。

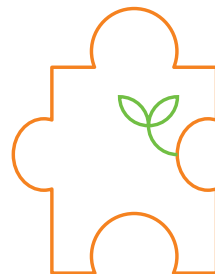
- ・色

パズルピースの輪郭の色をオレンジにすることで、人の温かさや力強さ、そして前向きなイメージを表しました。

- ・使用例

シンボルマークをつなげて使用することも出来ます。つなげることで「共同作業」のメッセージがより強く表現されます。

この時点のシンボルマークをプレゼンテーションしました。

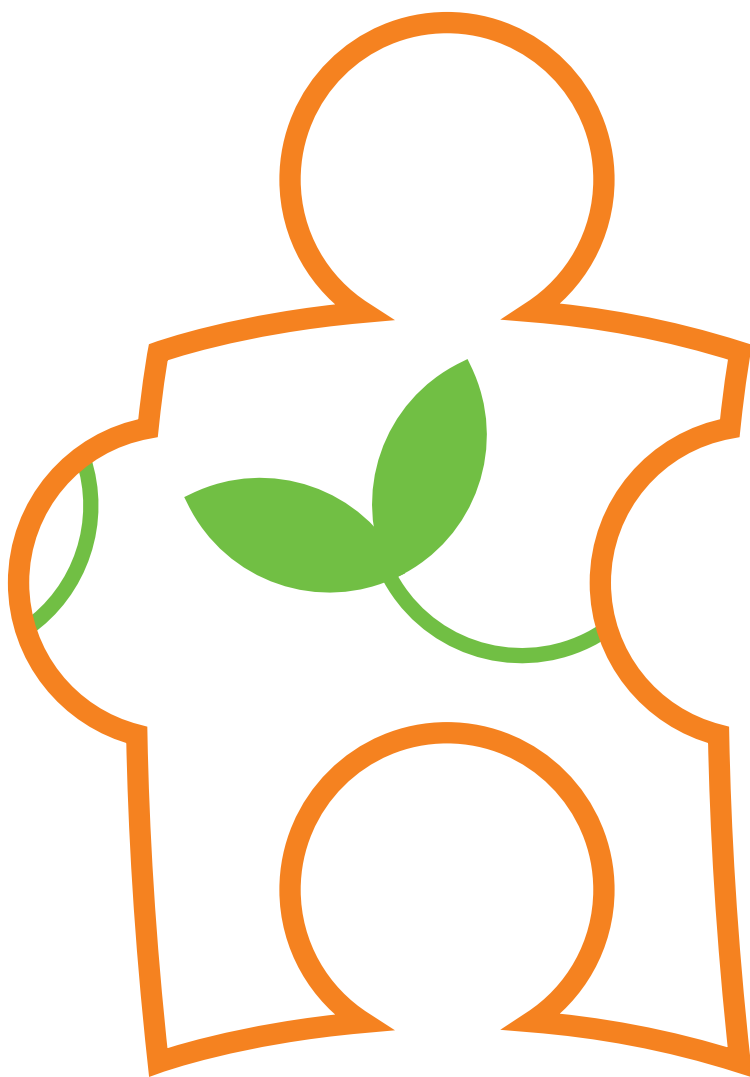


6. 完成

このシンボルマークが選ばれたことを受けて、デザインを再度検討しました。輪郭に動きをもたせ、双葉のデザインも少し変更を加え、より「つながり」を感じさせるデザインにしました。

このシンボルマークのキャッチコピーは、「わたしがうごいた。」「あなたにつながった。」としました。





あなたにつながった。

